

「三千枚の金貨」
 宮本輝(著)／光文社
 見つけたらあげると言われた一億円相当の金貨。桜の木の下に埋めたという。働き盛りの男三人と彼らより一回り年下の女性が手を結んだ。最後に彼らが手にするものは？ 【中央・葦山】

「ダリアの笑顔」
 柳月美智子(著)／光文社
 自信満々の別の自分を空想する長女。揺れる40代を感う母。ピッチャーの座を奪われそうな長男。係長なのにやる気のない父。懐かしくて元気が出る普通の家族・綿貫さんちの物語。【中央】

図書館だより

＊【 】内は所蔵館名

「華の人 有田に生きた薔薇の貴婦人・敏子の物語」
 伊藤緋紗子(著)／祥伝社
 大正13年、東京の女学校に通うモダンガールが大恋愛の末に嫁いだ先は、皇室御用達の名門窯元だった。明治、大正、昭和を熱く生きた伝説の女性の生涯を追った物語。 【長岡】

「天海の秘宝 上、下」
 夢枕獏(著)／朝日新聞出版
 時は宝暦年間。江戸市中に、人を襲う不死身の犬、凄腕の辻斬り、凶盗団が出没…。不穏な状況の中、異能のからくり師・法螺右衛門と天才剣士病葉十三が探索にのり出す。【葦山】

問合せ
 【中央図書館】 ☎ 0558 - 76 - 5566
 毎週月曜日休館
 【長岡図書館】 ☎ 055 - 947 - 2364
 毎週月曜日休館
 【葦山図書館】 ☎ 055 - 949 - 8605
 毎週水曜日休館
 各館の休館日は、月のカレンダー・ホームページなどをご覧ください。

おはなし会
 中央図書館…10月9日(土) 11:00～
 長岡図書館…10月21日(木) 14:30～
 葦山図書館…10月9日・23日いずれも(土) 14:00～
 対象／赤ちゃん～小学校低学年くらいまで(申し込み不要)。

「プリンセス・ダイアリー 永遠のプリンセス編」
 メグ・ギャボット(作)／河出書房新社
 突然プリンセスだと知らされたミアの、恋とプリンセス修行の高校生活を綴った人気シリーズ最終巻。ミアが進む道は大学？プリンセス？夢の小説家？ 【中央】

いずのくに読書ウィーク 雑誌リサイクル

図書館で保存期間の過ぎた雑誌を無料配布します(なくなり次第終了)。
 とき／10月30日(土)～11月7日(日)の開館日9:00～17:30
 図書館によって雑誌の種類が異なります。袋などの入れ物はお持ちください。

としゃかん 秋のおはなし会

読み聞かせ勉強会「ひこうせん」が、絵本の読み聞かせや、大型紙芝居の実演など、楽しいお話を届けます。
 とき／10月24日(日) 11:00～11:45
 ところ／中央図書館2階視聴覚室
 対象／幼児～小学生低学年
 申し込み不要。直接会場へお越しください。

講師・神田京子さんがやってくる！ 読書講演会 リズミカルな日本語！講演体験入門！！

神田京子さんの講演と、生の講演・ワークショップ(京子さんと一緒に講演を楽しむコーナー)をお楽しみください。
 とき／11月7日(日) 14:00～16:00
 ところ／中央図書館2階視聴覚室
 定員／100名(先着順)
 申込み／10月5日(火)から中央図書館カウンターまたは電話で申し込んでください。



中央図書館



神田京子さん



2010年は、国が制定した『国民読書年』です。



読書の季節となりました。秋の夜長に本をじっくり読んでみませんか。図書館では、読書週間にちなんで、10月24日(日)から11月7日(日)まで、数々の催し物を計画しています。皆様のご来館を心よりお待ちしております。(図書館長 井村)



のぞいてみよう、あなたのまちの江戸時代。



問合せ 社会教育課
 電話 055 - 948 - 1461
 会 期 平成23年3月1日(火)まで
 9:00～16:30
 休館日 毎週水曜日・年末年始
 入館料 大人200円・小中学生100円
 (市民は半額)

要が分かるよう、寺や神社などの要所は強調して示してあります。さらに、村明細帳のような文字史料とあわせて見ることで、村の家数や人口、寺社の数など、より具体的に村の状況を知ることができます。
 左上の図は、長崎村(現在の長崎地区)絵図です。長崎村は、柿沢川下流域に細長く形成されています。『豆州志稿』では、その細長い地形が村名の由来だと記しています。
 この絵図から、田畑の位置や家並み、道、用水路や樋の位置など、多くの情報を読み取ることができます。

問合せ 葦山郷土史料館
 ☎ 055(949)4127

文化協会展示4部門 (計51団体494人)

学芸部(13団体127人)

俳句・川柳・短歌・考古学・歌留多・古文書・囲碁・将棋・パソコン・スペイン語 等

工芸部(16団体125人)

パッチワーク・手編み・てまり・刺繍・トルペインティング・フラワーアレンジ・陶芸・竹工作 等

美術部(10団体115人)

書道・絵画・水墨画・絵手紙・墨絵・写真・エコロジーアート 等

伝統文化部(12団体127人)

華道・茶道・園芸・コーヒー 等

文化協会
 だより
 55
 文化協会の
 専門部制①
 「展示部門」

伊豆の国市文化協会は、市誕生の平成17年に発足し、本年度6年目となります。発足当時は旧3町の支部制でしたが、平成19年に専門部制に移行しました。専門部は展示部門が4、芸能部門が3の全7部門です。今月は展示部門を紹介します。